



彩の国女性チャレンジ支援事業

平成17年3月30日
埼玉県総務部男女共同参画課

1 なぜ、彩の国女性チャレンジ支援事業が必要なのか

現状・課題

埼玉県は、700万人の県民を有し、若い世代が多く、人的な資源に恵まれている。活力にあふれ、とても可能性に満ちた県である。

しかしながら、少子・高齢化や情報化、国際化などが急速に進展する今日、埼玉県においても、政策・方針決定における女性の参画が十分とは言えない。

専門的・技術的職業従事者の女性進出の比率が低い。
また、女性の労働力率が出産・子育て期に大きく低下する傾向が見られる。

対応・対策

- 女性が個性と能力を十分に発揮しえない現状を踏まえ、女性の新しい発想や多様な能力を活かせるよう、女性への積極的格差是正措置を実施し、意欲と能力のある女性が様々な分野へチャレンジすることができる。

彩の国女性チャレンジ支援事業の実施



2 彩の国女性チャレンジ支援事業とは

埼玉県では、女性が個性と能力を十分に発揮しえない現状を踏まえ、女性の新しい発想や多様な能力を活かせるよう、女性への積極的格差是正措置を実施し、意欲と能力のある女性が様々な分野へチャレンジするための支援を行います。

平成16年度は、チャレンジしたい女性が必要な情報を効率的に入手できる情報提供システムと人的ネットワークの構築を図るため、次の4つの取組を行いました。

1 女性のチャレンジのためのネットワークをつくりました！

いつでも、どこでも、誰でもチャレンジしたいときに、チャレンジできる環境をつくるため、With You さいたまを拠点に、関連機関・団体で構成する地域ネットワークの構築をしました。

3 「女性の元気・女性のやる気」を応援するイベントカレンダーがオープン！

With You さいたまのホームページに、イベントカレンダーを開設。チャレンジ支援機関や団体などで実施する女性のチャレンジに役立つ情報を提供しています。

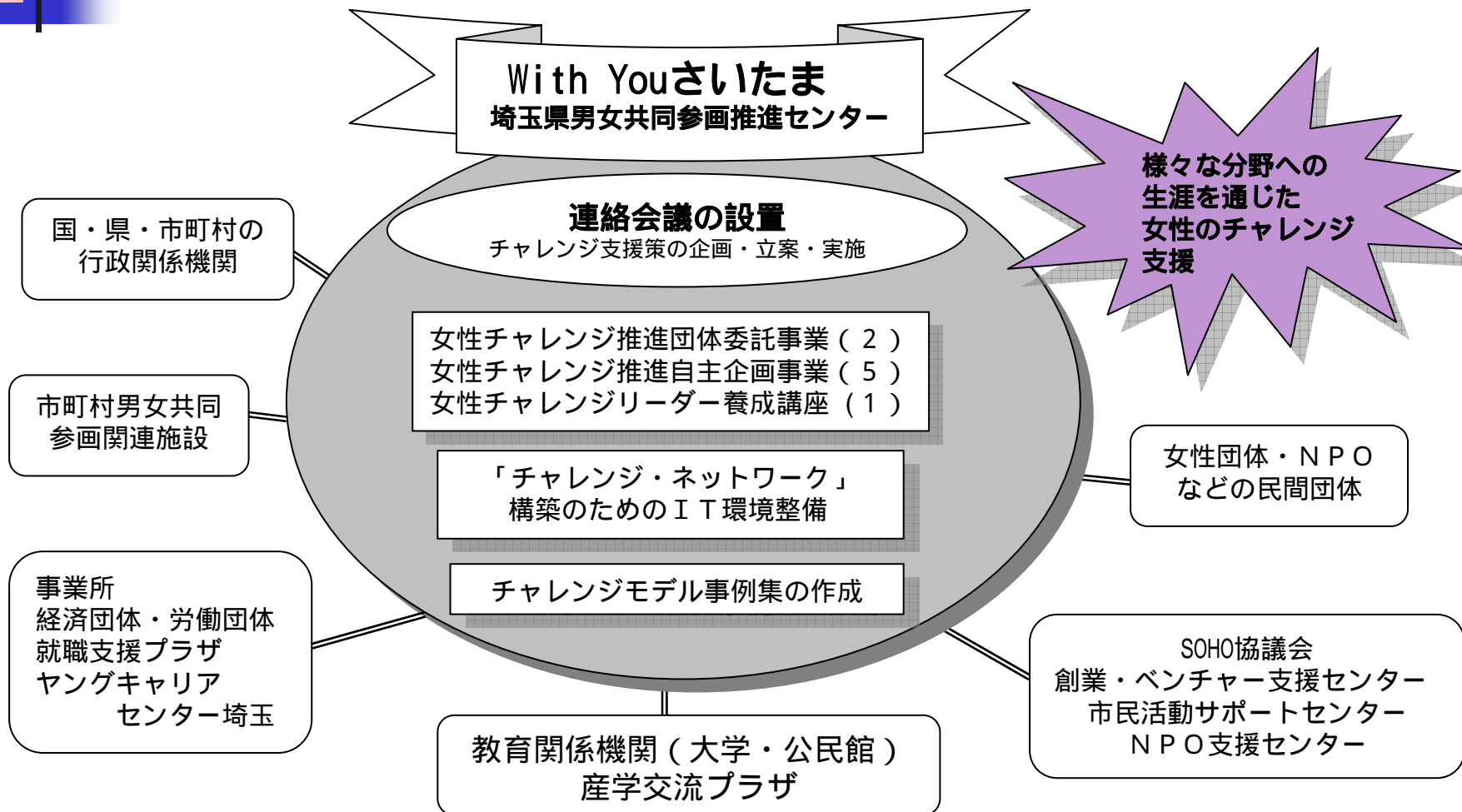
2 NPO・団体から企画提案で、チャレンジに役立つ事業を実施しました！

女性のチャレンジに役立つ事業の公募を行いました。8団体が県民向けの事業を実施し、受講者及び団体自ら能力を最大限に生かせるよう、様々な分野にチャレンジしました。

4 「自分らしさ、見つけた！(チャレンジモデル事例集)」を作りました！

子育て支援団体などの地域活動をしている女性が、チャレンジモデルを紹介する事例集の企画・取材・執筆をしました。10人の女性と機関を紹介しています。

3 彩の国女性チャレンジ支援事業(イメージ)



4 ネットワーク連絡会議とは

1 連絡会議とは

(1) 趣旨・内容

彩の国女性チャレンジ支援事業を通じて、拠点施設であるWith You さいたまの在り方と関係機関の役割を検討し、相互連携の強化を図る。

(2) 関係機関(計13機関)

- ・男女共同参画全般
- ・起業・就業関連
- ・NPO・ボランティア関連
- ・農業関連
- ・大学等教育機関
- ・マスコミ関係者等

(3) 会議の実施

- ・第1回 H16.10.27
- ・第2回 H17.3.22

2 連絡会議 支援部会とは

(1) 趣旨・内容

彩の国女性チャレンジ支援事業の実施団体に対して、分野ごとに支援機関が集まり、必要な支援及び意見交換を行う(実施団体は年度によって異なるため、支援部会の設置は常設ではなく、年度により改変)。

(2) 支援部会

女子学生支援部会

H16.8.11

再チャレンジ支援部会

H16.10.27

団体連携支援部会

H17.2.4

4 - ネットワーク連絡会議(写真)



連絡会議(委員)



事業実施団体代表(後列)